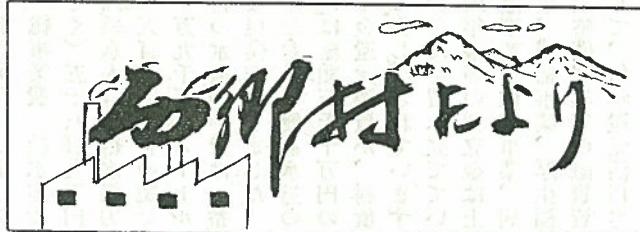


西郷村の人口及世帯数 (45.6.1現在)	
世帯数	2,184
人 口	10,372
男	女
5,095	5,277



発行日 昭和45年6月30日

発行所
西郷村役場
(電話磐城熊倉)
1番・2番・7番
編集発行人
企画課
印刷所
ワタベ印刷所

水道は文化のバロメーター



六月十八日、鶴生に鶴が二羽飛んで来たというので眉につばをつけながら、とんで行つたら、ほんとにいる。大きなのが二羽、悠然と立つてござる。

鶴生は先祖からわがすみかとばかり、人が行つても驚かず、極めて落ちついたもの。飛んでいる所を写真に撮ろうと、ちょっと驚かしても、ぱたくとどん

まう。この鶴、丹頂でも鍋鶴でもない、南方系統の頭にかんむりをかぶつた半分紫色のカシムリ鶴。黒磯の野鳥園から逃げ出して飛んで來たものとわかつた。道理で

しかし、所もあろうに、鶴生に舞い下りるとは、この鶴なかく故事来歴にくわしい、いやれた鶴である

鶴生に鶴が来る

鶴生に鶴が飛んで来た。という、ほんとはなし。

村の財政について (1)

「まえがき」

近年のわが国の社会情勢の発展は、全く予測を許さぬ程めまぐるしいものがあります。

自動車を一つ例にとつてみても、十年前に今日わが

西郷村にこれ程、自家用車

が普及しようとは、恐らく

大多数の人が予測し得なかつたのではないでしようか

水道その他の衛生施設に

しても、電話などの文化通

信施設にしても、或は衣食住全般にわたつても、どん

くめまぐるしく、変化し

て行きます。

テレビなどのマスコミが

発展し又、都市と農村との

交流が激しくなるにつれて

農村と都會との生活意識の

差はますくせばめられ、

農村でも都會なみの生活が

要求されつゝある現状です

このようない社会情勢の変

化に伴なつて、地方行政に

対する住民の要求は、急角度のカーブをえがいて上昇

しつつあります。

自動車の例にもどります

が、昔は個々の農家への出

入りは、殆んど歩くか自転

車程度で事が足り、荷物の運搬には馬車の出入りが可能な道路であればよかつたわけです。ところが近頃は個々の家庭の玄関まで、自動車が横付けされる事が必要となつて来ました。同時にそこに至る道路の拡幅改良は勿論、遂には舗装までも必要と考えられつつある現状です。

これはほんの一例ですが、そこには教育施設、文化施設、福祉施設等あらゆる分野にわたつての行政措置の要求は際限もなく高まりつつあります。

これは何もわが西郷村に限られたことではなく、社會全般に通ずる問題です。

ところで、これらは行政の要請を満たすための財源の

多くは、予算決算のお知らせで毎度お知らせしてい

るよう、いくつかの種類に分かれています。

(1)まず根幹となるものは村

(2)次に、國からの各種交付税です。

このことは、うす墨書きの空

と行なつたものです。

この日は、うす墨書きの空

と行なつたものです。

このことは、うす墨書きの空

と行なつたものです。

献血に協力を!

血液は人間の生命が母体に宿つてから、この世に生

まれ、一生を終るまで一秒の休みもなく活動を続け、われわれのいのちを保存してくれる「いのちの網」です。

この貴重な血液は、一時に多量に失なえば尊い生命の営みも止つてしまふそれで大ヶガや大手術の際には、どうしてもこの失なわれた血液を補わなければなりません。これが輸血となりません。これが輸血となる危険にさらされており、いつ輸血を必要とするような事態が起きないとも限りません。私たちは自分のいのちを守るためにも血液の尊さを今一度考え方のある必要があるのでないでしょうか。

農薬の製品には、使用方法や使用上の注意などが表

示されているので、これをよく読むこと。

(1) 農薬の製品には、使用方法や使用上の注意などが表

示されているので、これをよく読むこと。

以上献血の目的をご理解

精神です。

これに応じた取り扱いの注意が必要です。

意が必要です。

